

# eポートフォリオと連携するゼミ 選考システム展開

田村晶子

法政大学比較経済研究所

2011年～2012年度経済学部教授会主任

# はじめに：経済学部におけるゼミ教育

- 法政大学経済学部は1学年900名の大規模学部で、専任教員1人あたりの在籍学生数は、2011年度は61.0人と多い
- 経済学部は学部の重点目標として「カリキュラム・ポリシーに謳う少人数教育に向けた改善」をあげている
  - 「入門ゼミ(1年次・クラス授業)」の少人数化と共通シラバス
  - 「専門ゼミ(2-4年次、各学年12名前後)」の募集方法の改善

# はじめに: 専門ゼミ募集の問題点

- 法政大学経済学部では、2-4年次の学生が同時に「演習」を履修する。  
(多くのゼミでは2-3年生がゼミの主力で、4年生は卒論指導のみを行っている。)
- 「少人数教育」を確保するためには、ゼミに定員が必要で、希望するゼミを必ずしも履修出来ない。(毎年100名程度)
- ゼミを希望しながら履修出来ない学生(& 保護者)の不満はとても大きい

# はじめに: WEBシステム導入の狙い

- 法政大学経済学部では、「2-4年次の専門ゼミの募集方法の改善」への施策として、2012年度にWebによるゼミ応募システムを導入した
- 2012年度のシステム導入は「紙からWEBへ」の移行により、ゼミ応募の偏りへの対処などを行った
- 2013年度の開発では、eポートフォリオと連携し、学生の自己PRを充実させる

# アウトライン

1. 法政大学経済学部におけるゼミ選考
  - 実態と問題点
2. 2012年に導入したゼミ選考システム
  - システム概要
3. 2012年ゼミ募集のまとめ
  - 改善点と残る課題
4. 2013年ゼミ選考システムの拡張
  - eポートフォリオとの連携

# 経済学部におけるゼミ募集(定員)

- 2-4年生が同時に履修し、2010年以前はゼミ教室の定員が24名だったため、新2年生の募集定員は8名が基本
- 2010年にゼミ教室の机変更により定員が30名となり、新2年生の募集定員を10名に増加
- 2011年度、「短期的な措置」として、新2年生の募集定員を12名に増加、あわせて、ほぼすべての教員がゼミを開講した

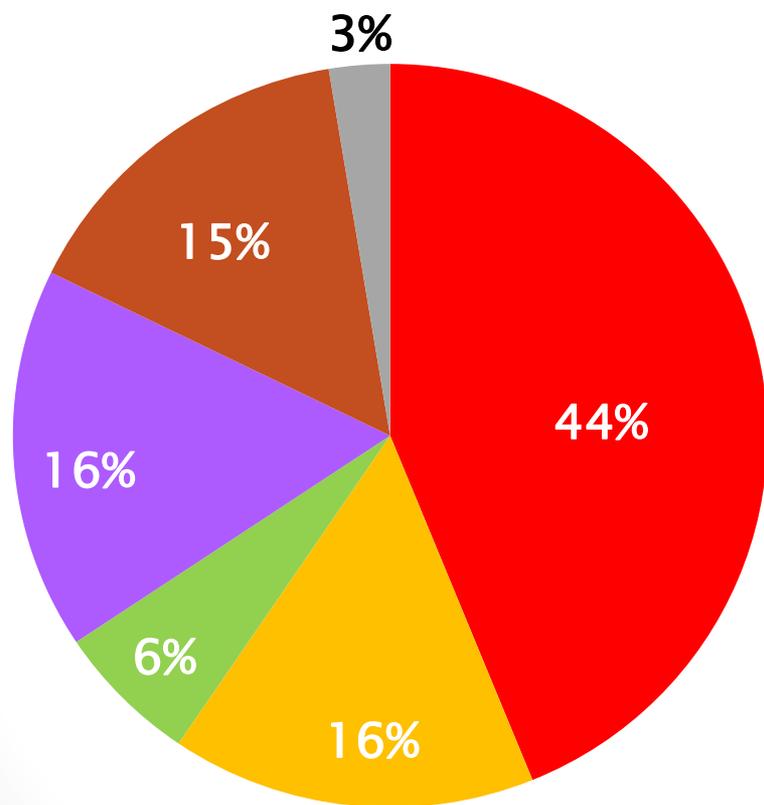
# 経済学部におけるゼミ募集

- 2010年11月の募集：
  - 1年生在籍1040名、うち880名がゼミに応募、ゼミ履修した新2年生は658名(約75%)
- 2011年11月の募集：
  - 1年生在籍957名、うち788名がゼミに応募、ゼミ履修した新2年生は686名(約87%)
- 2011年度は専任教員のほぼ全員(71)がゼミを開講し、各ゼミ12名の新2年生を募集した。
- しかし、希望者のうち100名程度はゼミ履修が出来ていない

# 2011年度2年生アンケート

Q: ゼミに所属していますか？

## 経済学科

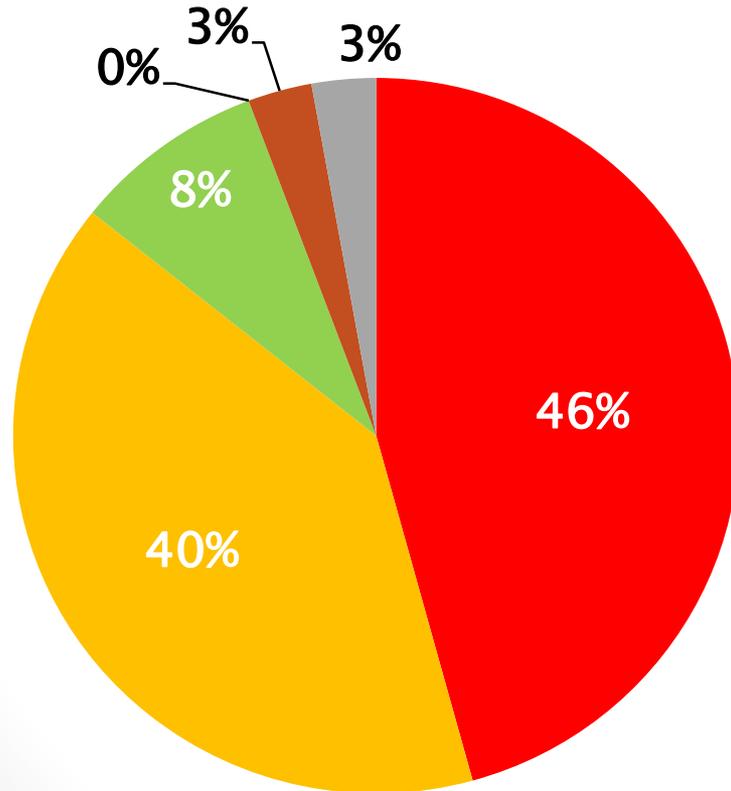


- a. 所属している(1次募集で決定)
- b. 所属している(2次募集で決定)
- c. 所属している(3次募集で決定)
- d. 希望していたが入れなかった
- e. 希望していなかった
- 無回答・無効

# 2011年度2年生アンケート

Q: 「d.希望していたが入れなかった」と  
答えた人

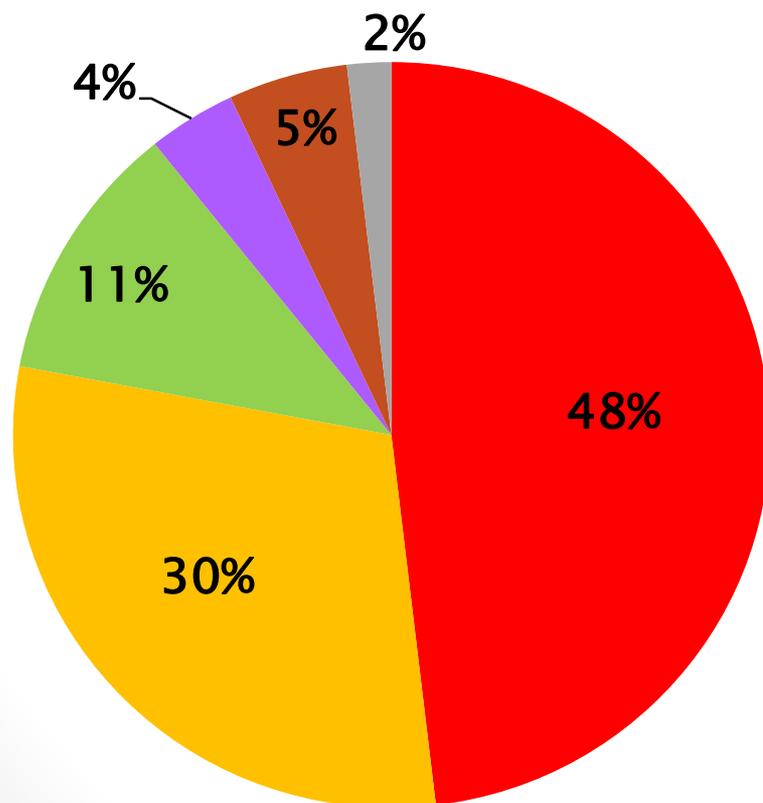
## 経済学科



- a. 1次募集のみに応募した
- b. 1次募集、2次募集のみに応募した
- c. 1次、2次、3次募集に応募した
- d. 3次募集のみに応募した
- e. その他
- 無回答・無効

# 2011年度2年生アンケート ゼミへの満足度

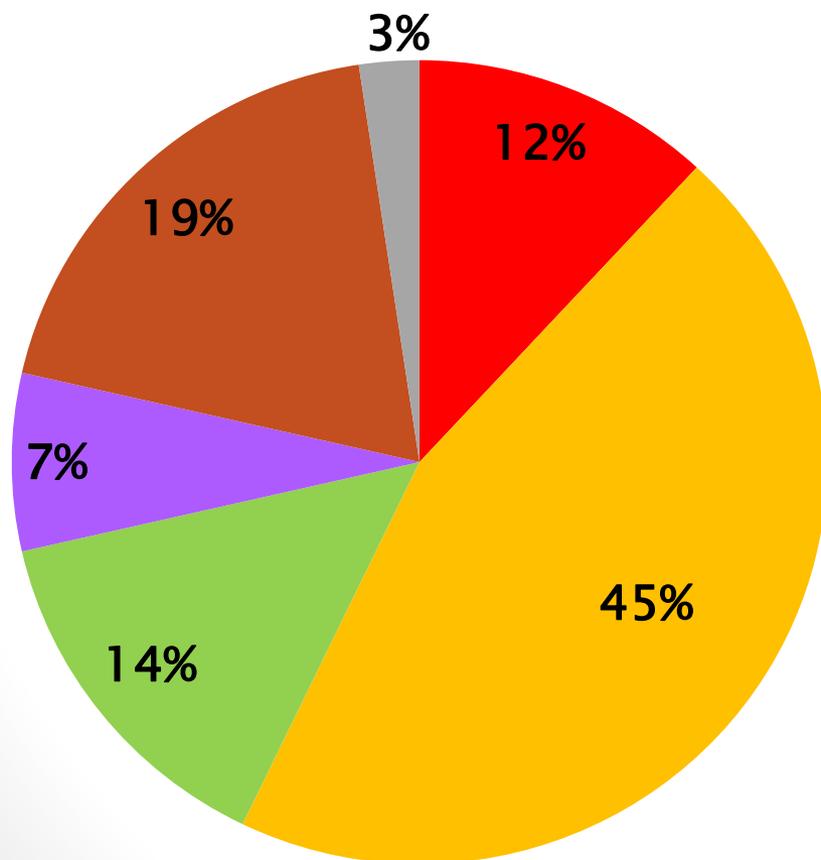
## 1次募集で決定した学生



- a. 非常に満足
- b. おおむね満足
- c. どちらともいえない
- d. どちらかといえば不満
- e. 大いに不満

# 2011年度2年生アンケート ゼミへの満足度

## 3次募集で決定した学生



- a. 非常に満足
- b. おおむね満足
- c. どちらともいえない
- d. どちらかといえば不満
- e. 大いに不満

# 2012年度2年生アンケート

- 今後のゼミ活動で、「卒論を書くと決めている学生」は、1次募集で73%、2次募集で59%、3次募集で41%と、明らかな違いが見られた。
- 「希望していたが入れなかった」学生のうち、3年次からゼミ募集を希望して応募した学生は29%で、47%の学生は希望していない
- ゼミに対する不満についての自由記述で、「ゼミの選考方法」についての不満が見られた

# 経済学部・ゼミ募集プロセス(日程)

- 10月中旬:ゼミ紹介冊子の配布
  - 10月末～11月上旬:1次募集受付
  - 10月末:学生研究報告大会
  - 11月中旬:ゼミ選考(試験・レポート・面接)
    - ・合否発表
  - 12月上旬:2次募集受付・選考・合否発表
  - 4月上旬:3次募集受付・選考・合否発表
- 1次募集は1ゼミのみ応募可能で、2次、3次募集は複数ゼミの応募が可能

# 紙ベースの選考過程

- 教員が募集票(募集人員・選考方法)を事務に提出し、事務が掲示板に貼る
- 学生が応募カードを事務に提出
- 事務が応募票をゼミごとに取りまとめて、教員に配布する
- 選考後に教員が合格者一覧を事務に提出し、事務が掲示板に貼る



# 紙ベースの応募カード

## 全学科・現1年次生用応募カード

現1年生用

(教員用)

希望ゼミ	ゼミナール
------	-------

学年	クラス	学科	学生証番号	フリガナ	男・女
1				氏名	

★現住所★ 〒		—		TEL ( )
e-mail				(PC・携帯)
★生年月日★	年	月	日	★クラブ・サークル★
★趣味★			★特技・資格★	
★出身高校★	都道府県 国・公・私立			高等学校
★自己PR★				
備考				

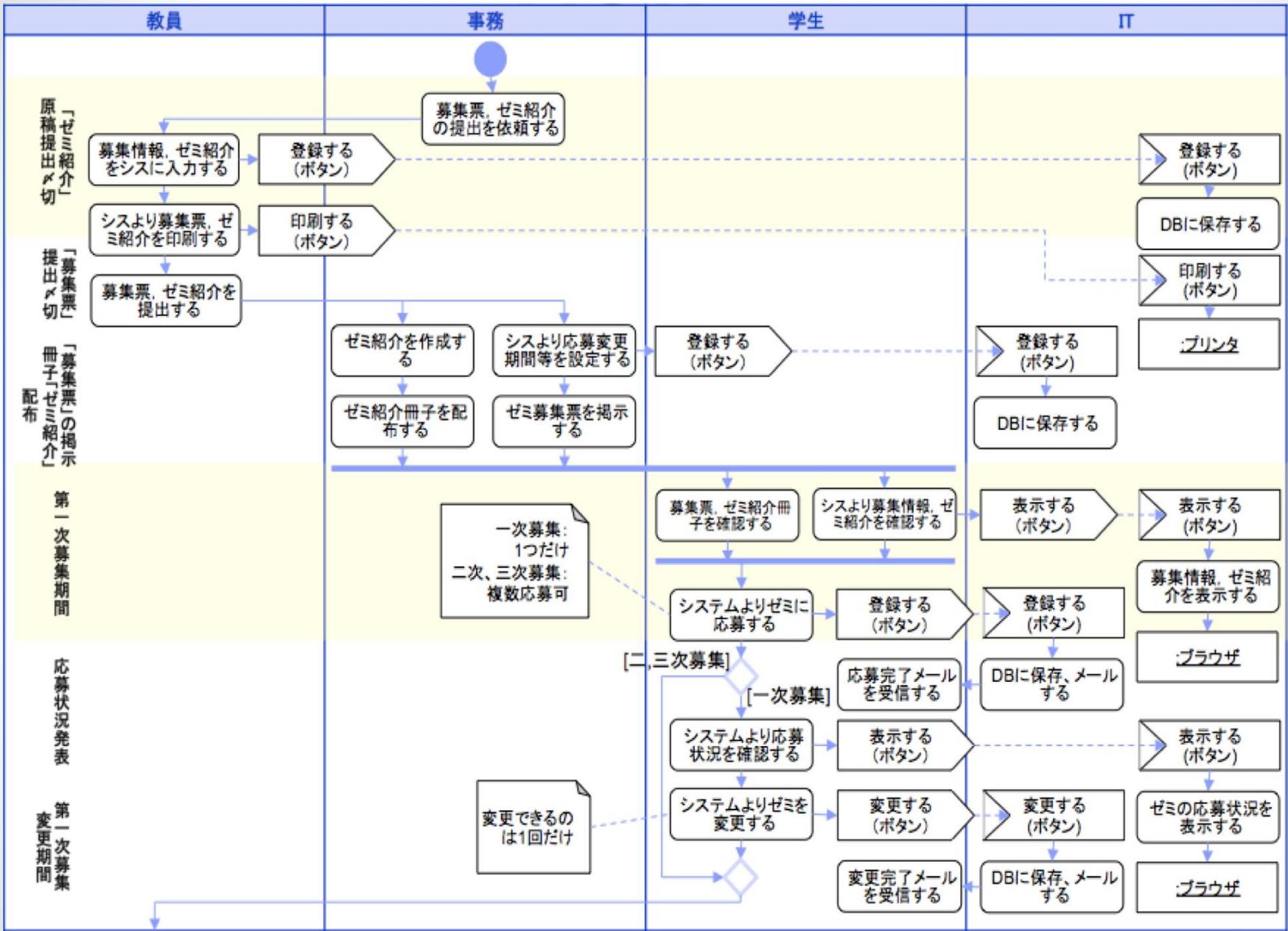
※応募カードに関する個人情報は、ゼミ選考の目的以外では使用しません。

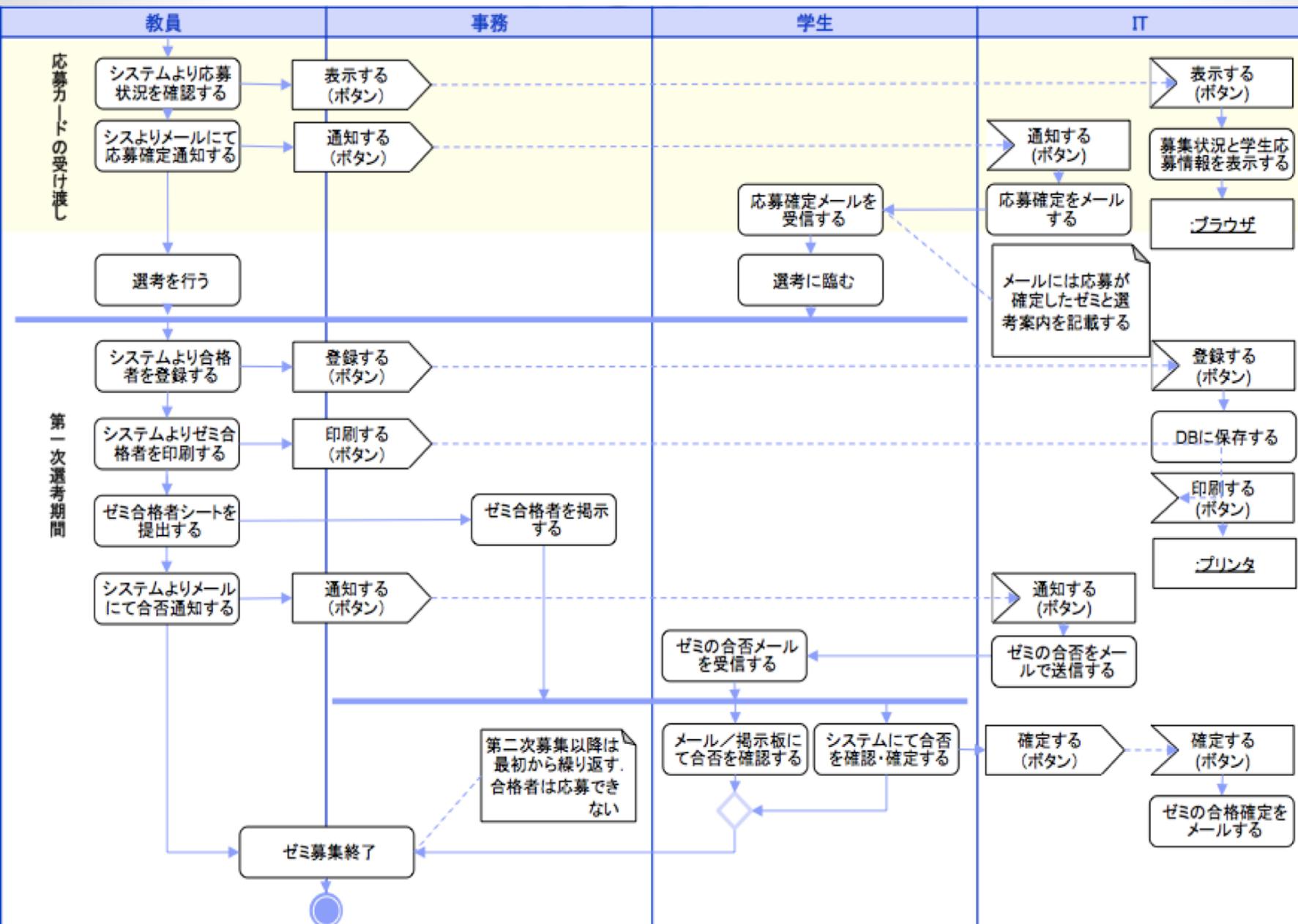
# 紙ベースの選考過程の課題

- 特定ゼミに応募が偏った場合の対応として、以前は応募変更を希望する学生は変更用応募カードを提出し事務が差し替えを行っていたが、煩雑なため廃止された
- 手書きの応募票が不明瞭で、メールアドレスなどがわかりにくい。
- 応募票を面接資料に使う場合、住所などの個人情報との切り分けが面倒
- 2次募集での合格者が確定しない

# 2012年導入のWEBシステム

- 紙ベースでの選考システムを廃止し、すべてのゼミでWEBによる選考システムを導入⇒ゼミを開講するすべての教員、応募するすべての学生、担当事務が利用⇒紙ベースでのプロセスを再現させる
- 1次募集の締切り後の応募変更を実現
- 2次合格者が1ゼミのみに「合格確定」でき、教員が確認できる
- 学生の情報をCSVでダウンロード可能





# 教員モード(田村晶子ゼミ)

- 募集票
- 学生の応募情報・合否
- 学部全体の募集・応募状況

# 2012年募集のまとめ

- 第一募集応募者：736名
- 第一次募集合格者：411名
- 第二次募集(+追加)応募者：  
(延べ人数)1,231名、(実数)320名
- 第二次募集(+追加)合格者：  
(延べ人数)315名、(実数)244名
- 3次募集後ゼミ履修した新2年生は669名(在籍者は836名)第1次募集希望者からの差は67名

# 第1次募集の応募変更

- 1次募集での応募変更により、全ゼミで104人の移動があった。
- 変更期間に新規に応募した学生は18名
- 応募ゼミを変更した学生は43名
- 応募者12名以上ゼミ(27ゼミ):2名減少
- 応募者5名以下ゼミ(23ゼミ):2名増加
- 応募者6~11名ゼミ(13ゼミ):19名増加
- 効果は認められるが個々のゼミで違い  
(2012年はゼミ応募の偏りが小さかった)

# 2012年度ゼミ募集のまとめ(続き)

- 第二次募集 一人当たり合格数:  
1ゼミに合格:183名、2ゼミに合格:98名、3ゼミに合格:36名、4ゼミに合格4名
- 1次募集、2次募集での不合格者:112名、1次合格に不合格のあと2次募集に応募しなかった学生は53名
- WEBシステムの導入で、2次募集、3次募集での学生の動きを察知できるようになった

# 2012年度ゼミ募集のまとめ

- 紙ベースでは小さな欄だった、「自己PR」を400字未満にしたところ、多くの学生が字数制限いっぱいにも熱心に記入した  
⇒ 学生は自己PRの機会を求めている

# 2013年度のシステムの拡張

- eポートフォリオと連携させて、学生の自己PRの場をより広げる
- 1年次の勉強をゼミ選考に反映させる
- すべての学生が作成し、教員が参照するため、導入初年度は「ゼミエントリーシート」のテンプレートを導入
- ゼミからの課題を添付する項目を設ける
- 将来は入門ゼミでの活用、希望教員はゼミでの活用を可能にする

# ゼミエントリーシート

maḥara

## 経済学部ゼミエントリーシート

戻る

誠 宮崎

### プロフィール

- 名: 誠
- 姓: 宮崎
- メールアドレス: makoto.miyazaki.dc@hosei.ac.jp

誕生日 1980年 06月 13日  
出生地 佐賀県  
性別 男性

### テキスト

### ゼミでやりたいこと／目標

私は、○○に興味があり…  
…  
…  
…  
…

### 自己PR

私が将来やりたいこと、それはもっともっとリーグを素晴らしいリーグにすることです。  
こんな目標を私は持っています。

これを達成するために前期は色々な人やものと関わってきました。町田ゼルビアのスポーツボランティアに参加したり、FC東京の元応援団の人とお話をさせてもらったりなどです。私は前期を通してリーグがどれだけ魅力的なものなのかということとを再認識することができました。それと同時にリーグの未発展な部分も発見することができました。これはいくつもあるのですがここでは挙げませんが、これをどうすれば進歩させることができるのかということとを是非ともこのゼミに入ってこの分野を

専門に学んでこられた先輩方と意見を交換し合いたいなと思いました。 全然知識はないですが、最初にお述べた目標のためどんな努力も惜しまずやっています。どうかよろしくお願ひします。

### ファイル

**book.jpg**  
私も著者として書いています  
95.1KB || 詳細

### フィードバック

0 コメント

フィードバックを投稿する | プリント

maḥara

## 2次募集における追加(補欠)合格

- 2次募集では、多くの学生が応募するものの、合格者が必ずしも履修しない状況があり、教員から追加(補欠)合格の希望が多くあった  
(例:1次募集で応募14名中6名合格させ、2次募集で40名応募のうち6名合格させたが2名しか履修せず、最終履修者は8名のみ)
- 2013年度の拡張により、2次募集選考後に合格を確定しない学生の合格を無効にし、追加合格を出すことを可能にする

# 経済学部・ゼミ募集プロセス(日程)

- 10月18日～30日:1次募集受付
- 10月30日, 11月1日:1次募集変更
- 11月11日～21日:ゼミ選考・合否発表
- 12月2日～13日:2次募集受付・選考・合否発表
- 12月16日:2次合格者確定
- 12月18日、19日:2次追加合格発表
- 12月20日:2次追加合格者確定

## おわりに(まとめ)

- 2012年の「紙からWEBへ」のゼミ選考システムの変更により、応募の偏りの是正などに役立つとともに、学生情報の管理も容易になった
- 2013年度はeポートフォリオとの連携により、学生が1年次の勉強の成果をゼミ選考に利用できるようになり、学生の自主的な勉強を促す。
- 将来は、入門ゼミ、専門ゼミでの活用を促す予定